



五木東小 第33号

学校便り
文責
生田 文明

部活動お別れ会

二日(日)、サッカー部、バドミントン部のお別れ会を開催しました。今年度は、保護者の参加が得やすく、日程に余裕があり、内容をより充実できる日曜日に開催することにしました。

サッカー部では、親子試合で大いに盛り上がりました。過去に二年、保護者に完敗している子どもたちは、今年こそはという思いで試合に臨みました。

第一試合は、6年生主体チーム対保護者スーパースターチームの対戦を行いました。序盤は、体格で優位な保護者チームが優勢でした。後半になると、体力に勝る6年生チームが得点を重ね、3対0となり、昨年度までの雪辱をみごと果たすことができました。

第二試合からは、学年毎の親子対決を行いました。好プレー、珍プレーが入り交じったとても楽しい試合となりました。

一方、バドミントン部では、的入れサーブ対決、親子対決でシングル戦、ダブルス戦の三種目を行いました。

的入れサーブ対決では、サーブエリア内の的のいかに多くのシャトルを入れられるかの競争をしました。的があるため、集中力も高まり、いつもより、切れのあるサーブが、多く見受けられました。



親子対決のシングルス戦では、保護者が力を発揮し、勝ち進むかと思っていきましたが、子どもたちは負けじと必死にいきがり、優勝は、6年生の田山さんが勝ち取りました。また、ダブルス戦は当初、親子ペアでの予定でしたが、親との勝負を願う子どもたちの希望を叶え、大人VS子どもペアの対決となりました。ここでも、田山・高田の子どもペアが勝利しました。保護者の方からは、「思っていたよりも強かったです。」との感想をいただきました。

サッカー、バドミントンとも保護者の皆様の積極的な参加で、子どもたちにとって、楽しい思い出となりました。また、保護者の皆様も、子どもたちの成長を体感されたのではないのでしょうか。

時には優しく、時には必死になって、子どもと向かい合うお父さん、お母さん。その姿にとっても感動しました。

両部活の親子試合の後は、6年生一人一人から、先生方、お家の方への感謝の言葉があり、後輩からは、思いを記した色紙のプレゼントがありました。

今後、小学校の部活で学んだことを生かし、中学校の部活での活躍を期待します。

これまで、部活の練習や試合で下級生をリードしてくれてありがとう。



薬物乱用防止教室

二月二十七日に六年保健の学習として、人吉市から小野薬剤師をお招きし、薬物についての正しい知識を学ぶための薬物乱用防止教室を行いました。

薬局からいただく薬の正しい処方、シンナーの身体に及ぼす影響、たばこ(ニコチン)の有害性について、

消防署へ行ってきました

実験を通して学習しました。
ミミズにたばこの煙の水溶液をかける
と、ミミズが、苦しくもだえはじめました。
「ミミズは、人の血管と違ってください。」
この一言は、子どもたちの心に響いたようです。たばこを吸うことで、身体中でどんなことが起きるのかを実感することができたようです。
これから大人へと成長する子どもたち。
今回の学習を生かし、誘惑に負けないよりよい行動ができ、自分の健康に配慮できる人になって欲しいと思います。



三日、三年生は、社会科の授業の一環として人吉下球磨消防組合中央消防署北分署に見学に出かけました。

北分署では、一一九番の仕組みや五木村の消防用施設等について教えていただきました。また、中央消防署からの情報伝達の模様や救急車内での機器についても詳しく説明していただきました。消防服も着用させてもらいました。そんな声も子どもたちから聞こえてきました。

子どもたちにとって、楽しい見学となりました。
北分署の皆さん、大変お世話になりました。

